



平成 27 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名	ジェコス株式会社
代表者名	代表取締役社長 弓場 勉 (コード：9991、東証第 1 部)
問合せ先	総務部長 数藤 英二郎 (TEL. 03-3660-0776)

中期経営計画について

ジェコス株式会社は、2015～2017 年度の事業運営の指針となる中期経営計画を策定いたしました。

1. 概要

今中期計画の対象期間（2015～17 年）における当社グループを取り巻く事業環境は、建設需要は引き続き堅調に推移するものの、人手不足の影響等の懸念材料が残るものと見ております。また、オリンピック・パラリンピック関連需要が一巡した後は、国内需要は減少基調に転じ、経営環境は再び厳しい局面に直面する可能性もあると考えております。

このような認識のもと、当社グループは向こう 3 カ年を、来るべき経営環境変化に向けての企業変革の期間と位置づけ、企業の総合力を一層向上させるため、事業領域拡大と体質強化に取組み、『建設業をサポートするリーディング・カンパニー』の地位確立を目指してまいります。

また、財務体質の強化を進め、ステークホルダーへの還元にも重点をおいて取組んでまいります。

主な取り組みは、以下の通りです。

2. 主要施策

(1) 国内重仮設分野の収益基盤強化

材料と工事の一括受注を更に推進するなど、総合力を生かした営業活動に取組み、堅調な国内需要を確実に取り込むとともに、需要縮小局面に備え営業力のより一層の強化を図ります。

また、工場については、老朽化した主要設備を計画的に更新して体質強化を進めます。コスト面においては、調達コストの圧縮を進め、採算性向上を目指します。

これらの施策により、国内重仮設分野の競争力を高め収益基盤を強化してまいります。

(2) 重仮設周辺分野の拡大

今後増加が見込まれる、老朽インフラの更新需要を取り込むため、4 月 1 日付で設立した加工・橋梁事業本部を中心に、長沼工場を活用した特殊加工事業、および仮設橋梁事業の拡大に向け活動を展開し、新たな収益の柱とすべく取組んでまいります。

(3) 新商品、新規事業の展開

「Eco ラムシステム」「新 GSS 工法」「GSS-SPA 工法」等の新商品、新工法を積極的に展開し、収益に貢献する水準まで拡大を図ります。R&D に力点を置き更なる技術開発に取組むとともに、JFE グループとの連携の深化を図ります。

また、新規事業分野への進出につきましては、M&A も含めて検討を進めてまいります。

(4) 海外への展開

国内の建設需要は長期的には減少に転じると想定されることから、今後成長が見込まれる ASEAN 地域を対象とした海外展開の検討を進めてまいります。

(5) 建機子会社の収益基盤強化

保有車種の最適化を図り、収益基盤の強化を進めます。

(6) 人材育成の取り組み強化

教育・研修制度をさらに充実させ社員 1 人 1 人の能力の更なる向上を図り、企業体質の変革を担う人材の育成に取り組みます。

(7) 財務体質および株主還元強化

事業環境の変化に耐えうる強靱な財務基盤の構築に向け、自己資本比率、D/E レシオなどの改善を進めるとともに、配当性向を 20%程度にまで高め、株主の皆様への還元を強化してまいります。

3. 主要財務指標と株主還元方針

		中期経営計画	参考 2014年度実績
財務目標 (連結)	ROE	10%以上	15.0%
	自己資本比率	50%程度	41.3%
	D/E レシオ	25%以下	46.0%
収益目標 (連結)	売上高	1,000億円以上	899億円
	経常利益	85億円以上	76億円
	ROS	8.5%以上	8.5%
配当性向 (連結)		20%程度	10.1% (予定)

以上